

TOTO

ハンドグリップ

施工説明書

YHB203型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)




取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けしてください。

●この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品を水にぬらさない 部材が腐食することで商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 商品の破損や脱落により使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	必ず強度のある壁・建築構造体*に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または、同等以上の下地に取り付ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。 ※詳細は 7. 手すりの取り付け をご参照ください。
	必ず縦向きに取り付ける 横向きに取り付けて使用すると、商品が外れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。また、下側用のブラケットカバーを握ると、下側用のブラケットカバーが外れて使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	貫通した穴があるブラケットが上側となるように取り付ける 上下逆に取り付けてブラケットカバーを握ると、ブラケットカバーが外れて使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	必ず同梱のタッピングねじ、または当社指定の固定金具を使用し、指定の本数で取り付け 同梱のタッピングねじ、または当社指定の固定金具を使用しなかったり、指定本数より少ない場合、商品がガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認し、指定の取付方法で取り付け 下地に十分な厚み・補強がないと、商品がガタついたり外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する 商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

設置に関するお願い

■壁にフリクがある場合、ワッシャーなどでフラット面を確保してください。


2. 取り付け前に

取り付け前の注意

- 手すりを取り付ける壁に十分な強度があることを確認してください。
- 屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けないでください。
- 取り付けは建物の構造に応じて適切な方法を選んでください。
コンクリート下地の場合については別途固定金具をご発注のうえ、同梱の木下地用のタッピングねじで固定してください。固定金具必要個数は**3. 固定金具(別売品)**を参照してください。
- ハンドグリップをタイルに取り付ける場合は、厚さ24mm以上の構造用合板（JAS規格品）、または同等以上の下地材に取り付けてください。
- ハンドグリップは、壁仕上げ面がハイドロセラ・ウォールの場合には取り付けられません。
- 誤施工防止のため、注意書は取り付けが完了するまで外さないでください。

3. 固定金具(別売品)

＜固定金具一覧表＞

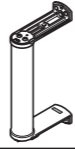
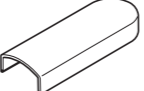



品番	T110D28
名称	樹脂プラグ
形状	 φ6×30
入数	20個

＜対象商品と使用ねじの本数＞

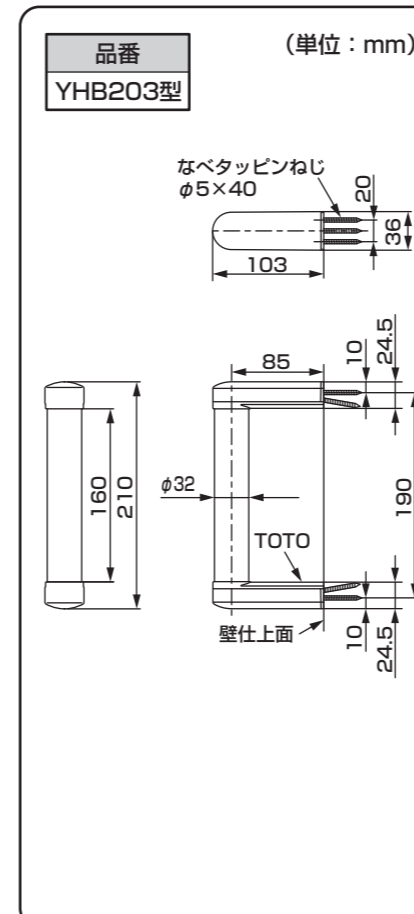
品番	ねじの本数
YHB203型	4本

4. 付属部品の確認

次の部品があることを確認してください。

付属部品	手すり部 (ハンドグリップ本体)	ブラケットカバー (上側用)	ブラケットカバー (下側用)	なべタッピングねじ	六角穴付き ボタンボルト
品番					
YHB203型	1個	1個	1個	φ5×40 6本	M5×12 1本

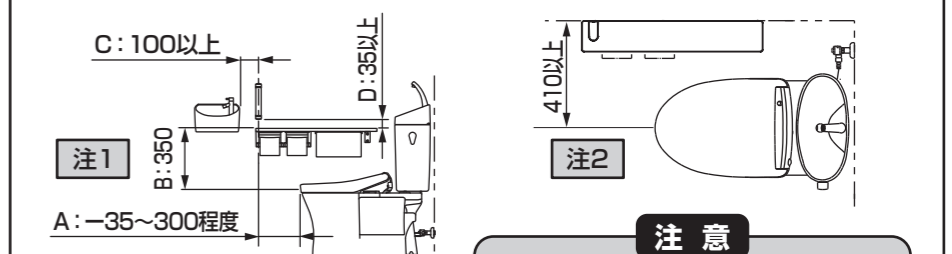
5. 完成図



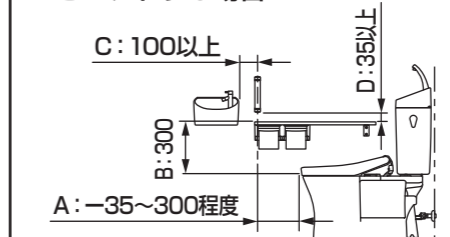
6. 取付位置

寸法は標準的な数値で示しています。使用者が特定できる場合は、その方の使いやすさにあわせて取付位置を決定してください。

＜YHB63NB型(収納ボックス付)とセットする場合＞ (単位: mm)



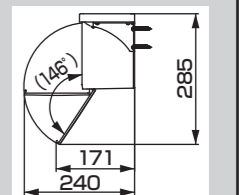
＜YHB63N型(収納ボックスなし)とセットする場合＞



- A: 便器先端からハンドグリップ本体中心までの寸法
B: 便座面から棚上面までの寸法
C: 手洗器側面からハンドグリップ本体中心までの寸法
D: 棚上面からハンドグリップ本体下端までの寸法

- 注意**
- 注1: 収納ボックス付(YHB63NB型、YHB63FB型)の場合、便座の上から棚上面までの寸法は350mmに取り付けてください。
- 注2: 収納ボックス付(YHB63NB型、YHB63FB型)の場合、手すり取り付け壁から便器中心までの距離は410mm以上に取り付けてください。

収納ボックスの収納扉と便ふたが干渉するおそれがあります。



7-1. 手すりの取り付け

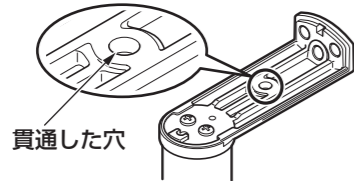
木下地：タッピンねじ固定の場合

固定金具品番 同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

- ①事前に補強木を取り付ける。**注1**
 - ②心出しをしたあと、φ3mmのなべタッピンねじの下穴をあける。**注2**
- ※タイル壁の場合は、タイル部のみφ7mmの通し穴をあけてください。

注意

タイルに取り付ける場合は、厚さ24mm以上の構造用合板（JAS規格品）、または同等以上の下地材に取り付けてください。



警告

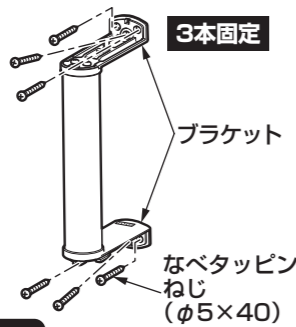
貫通した穴があるブラケットが上側となるように取り付ける

ブラケットを上下逆に取り付けて、ブラケットカバーを握るとブラケットカバーが外れて転倒し、けがをするおそれがあります。

- ③なべタッピンねじで固定する。

水平方向を先にけがいて下穴をあけ、手すりを仮固定して斜め方向の下穴をあける。

注3



注意

インパクトドライバーまたは電動ドライバーを使用する場合は、全長150mm以上のビットを使用してください。全長150mm未満のビットを使用した場合、工具とブラケットが接触して、ブラケットに傷がつくおそれがあります。

警告

注1：厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品）または、同等以上の下地材に必ず取り付ける12mm未満の場合は補強木をもうける
補強木を取り付けないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

注2：φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する

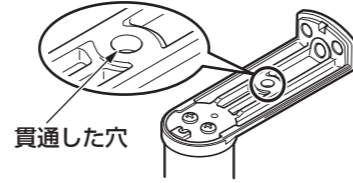
ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心揺れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注3：なべタッピンねじを強く締めすぎて表面仕上げ材や合板・補強木などを破損しないように注意する

コンクリート下地：プラグ固定の場合

固定金具品番 T110D28、同梱のなべタッピンねじをご使用ください。

- ①心出しをしたあと、φ6mm、深さ50mmの樹脂プラグの下穴をあける。**注1**
- ②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。

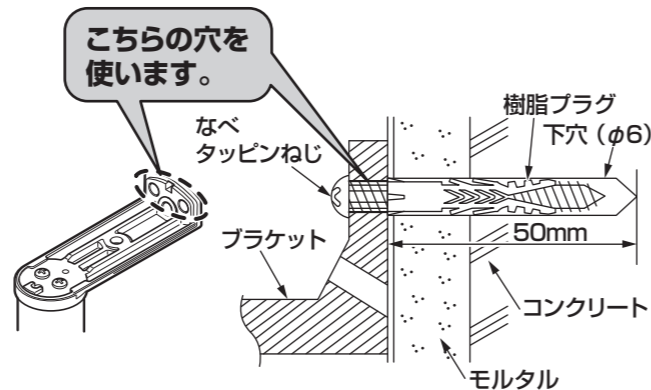
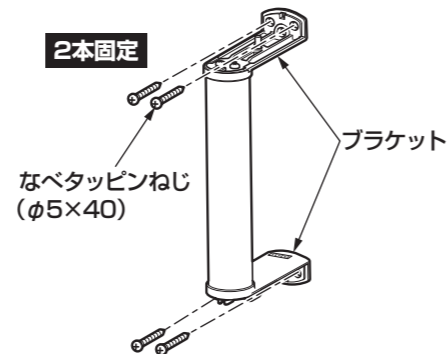


警告

貫通した穴があるブラケットが上側となるように取り付ける

ブラケットを上下逆に取り付けて、ブラケットカバーを握るとブラケットカバーが外れて転倒し、けがをするおそれがあります。

- ③なべタッピンねじで固定する。



警告

注1：φ6mmの下穴をあけることのできるドリルを使用する

ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心揺れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

7-2. 手すりの取り付け

ブラケットカバーの取り付け

<上側用のブラケット>

- ①六角棒レンチ（呼び寸法3）の長い方を使って、六角穴付きボタンボルトが突き当たるまで軽くねじ込む。
- ②六角棒レンチの短い方に差し替えてしっかりと締め付ける。（①の状態から45～60°程度）**注1**

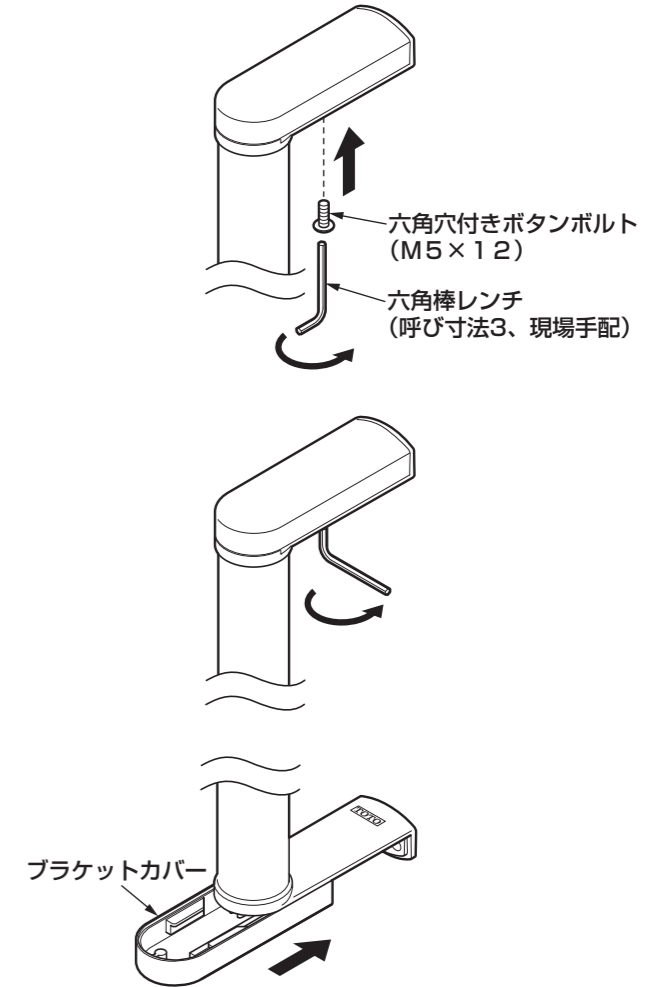
警告

注1：ボルトは頭がなめない程度にしっかりと締め付ける

締め付けが足りないとカバーが外れて使用される方が転倒して、けがをするおそれがあります。

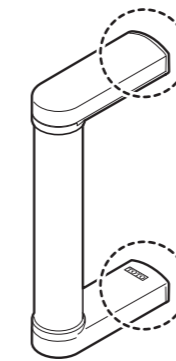
<下側用のブラケット>

- ③下側用のブラケットはカバーを矢印の方向に水平に押し込む。



8. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

手すりは壁にしっかり取り付けられていますか？

➡ **7. 手すりの取り付け**

参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。